

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／大坪正広

〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛婦人會
倉掛少年團育成會
倉掛消防分団第3

井原分団

3部長は柳本兼志さん

井原分団が4部体制に移行して初の井原市消防出初め式が一月十八日に挙行され、各式典や防火パレード、一斉放水などで華やかに一年のスタートを切った。

新体制でスタート

専任本部長に森兼幸治さん就任



撮影 一月十八日・機庫前で

本部長 柳本兼志
副部長 藤川相川
会計 梶井豊
消防班長 川上平川
厚生班長 田中今井
機械班長 尾内竹笠
水源班長 三宅山岡
組長 瀨川相飯
団員 岡片

地元第3部の式は午前六時から機庫前で行われ、柳本兼志部長が「無火災を目指し、団員一丸となって頑張りたい」と挨拶。出席した倉掛と夏目の自治会役員が「おめでとうございます。皆様の献身的活動に敬意を表します。今年も地域の防災にご尽力願いたい」と祝辞を述べた。



一斉放水を行う第3部(小田川 1/18)

井原分団第3部団員名簿

(夏) 柳本兼志
(夏) 藤川相川
(夏) 梶井豊
(夏) 川上平川
(夏) 田中今井
(夏) 尾内竹笠
(夏) 三宅山岡
(夏) 瀨川相飯
(夏) 岡片



小型動力ポンプの部できびきびと操法を行う第3部1班の選手。左から指揮者・平川貴章、1番員・竹内誠、2番員・梶井克也、3番員・長尾央司

第3部1班が優勝

井原分団操法訓練大会

た。二月一日には井原分団消防操法訓練大会が井原小学校グラウンドで開かれ、小型動力ポンプの部で第3部1班が手堅くまとめて堂々優勝。同2班も健闘するなど、短期練習の中で伝統的強さを発揮した。

防犯灯の交換 次年度以降実施

倉掛自治会

本年度は瀨川芳隆防犯交通部長を中心に、倉掛地区70カ所の防犯灯を調査。その結果、劣化が進み取り替える必要な器具は約20カ所にも上った。中でも頻繁に玉切れを起こしている器具については「限界」と判断し、交換を取り決めた。

大坪会長と長尾会計は、「本年度は災害関係の出費がゼロ。一方、会費収入は一般・事業所共に100%ご協力を頂いており、自治会財政は久々に余裕がある。しかし、防犯灯交換は予算や手続き等の関係もあり、次年度以降に見送らせて頂きたい」としている。

「井原中、身近に感じます」

PTA新聞好評

倉掛で試験的に回覧

井原中学校(小川雅史校長・587人)のPTA新聞第66号が昨年末、倉掛自治会で試験的に回覧され、住民の間で関心を呼んだ。地域に開かれた学校を目指す井原中学校が「一般の方々にも読んで貰ったらどうか」とする倉掛の評議員の提案を受け入れたもの。学区内では初の試み。

学校「要望あれば回覧継続」

井原中学校の猪原修作校長は「地元の皆様から要望があれば必要部数をお渡ししたい」。窓口となる倉掛自治連合会役員らは「地域教育の重要性が問われている。PTA新聞は学校の様子が分かって良い」と、回覧継続に前向きな姿勢を示している。

あかし遊びを伝授

郷社でふれあい・いきいきサロン開催

午前九時三十分には郷社境内に集合した関係者を前に佐能敏政政成会長が「今日は地域の方々との昔の遊びを通して三世代交流を図ります。大いに楽しみましょう」と挨拶。続いてサロンあすはの川相肇代表が、「我々が子供の頃とは世の中も随分変わりました。遊びの面でも工夫する気持ちを大切にして欲しい」と、集いの趣旨について語った。

この日はヘルスボランティアあいの会や、自治連合会役員らも参加して往年の得意技を披露した。

お手玉などのコーナーには女子が集まり、あいの会渡辺益枝さん(15-1組)たちから玉を投げ上げるタイミングなどを教わった。

竹とんぼのコーナーでは竹を切ったり削ったりと、



「えいっ！うまく回るかな...」。子供たちが興味を示した数々の遊び。時間の経過と共に大人も昔を思い出し、つい本気になってしまう場面も

男子団員が作業に夢中。約一時間ほどで仕上がり早速、手作りおもちゃの出来栄を競っていた。

「期待していたほど飛ばない。羽根の角度が悪いのかも：」「もう少し薄く削ったら高く飛ぶようになるかもしれない」などと話しながら、何度も手直しをしていた。

境内に歓声響く

「期待していたほど飛ばない。羽根の角度が悪いのかも：」「もう少し薄く削ったら高く飛ぶようになるかもしれない」などと話しながら、何度も手直しをしていた。

サロンあすはの渡辺邦子さん(16組)は「多くの人たちと意義深いひとときを過ごせた」。次期育成会長谷和政さんは「こういった昔ながらの遊びを、これからも子供たちに伝えていきたい」と話していた。

このたび倉掛少年団では「昔ながらの遊び」を通して「いきいきサロンあすはの会」の人たちとの交流を深めるふれあい活動を行いました。

少子化や核家族化でふれあう機会が少なくなった現代、子供たちは塾通いに精を出し、暇さえあればTVゲームに熱中する毎日です。



おじいちゃん・おばあちゃん先生に学ぶ

世代を越えたふれあい

倉掛少年団育成会 佐能敏政会長

最初は、竹を上手に使う竹とんぼや竹ぼっくりを作り上げるお年寄りや自治会の人の熟練の技をじっと見つめていた子供たちも、作り方を教わると瞳を輝かせながら夢中になって細工に取り組んでいました。また、郷社の社務所内では、おばあちゃん先生に手ほどきを受けながら、あやとり・お手玉・おはじきなどをして遊びました。

参加した人達は「懐かしい遊びばかりでしたが、遊び方や使い方がいろいろあって、びっくりしています」とか、「日本には、いい遊びがあることを改めて思いました。家でも子供と一緒に遊びたいと思います」とか、「懐かしくて子供より私が夢中になってしまいました」と感想を述べていました。

最後にサロンあすはの模様をはじめ、倉掛自治連合会やヘルスボランティアあいの会の皆様の温かいご支援、ご協力に感謝致しますと共に、今後とも倉掛少年団を宜しくお願い致します。

倉掛少年団 少年団育成会 サロンあすは 三世代交流

倉掛少年団とサロンあすは共催による「いきいきサロン・むかし遊びの集い」が2月1日に郷社足次山神社で開かれ、少年団、同育成会、サロンあすはの会員ら約70人がこま回しやお手玉など、懐かしい遊びの数々を楽しんだ。



竹とんぼを作る男子団員に、カッターナイフの安全な使い方を指導する育成会員



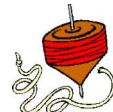
太い竹をのこぎりで切って竹ぼっくりを作る女子団員

毎年2月にボーリング大会をレクリエーションとして実施してきたが、サロンあすはの発足に伴い、三世代交流を図ろうと今回の集いを開いた。

育成会はこの日のために必要な材料や道具の準備に大忙し。女性の育成会員らが中心となって振る舞った約百人分のぜんざいと焼きいもは、参加者に大好評だった。

倉掛ほっと情報

好天の下で開かれた「昔ながらの遊び」の参加者に聞きました。



- 「うまく飛ばなかったけれど、竹とんぼ作りが楽しかった」= 5年山岡弘樹
- 「竹ぼっくりは作るのが大変だったけど、あそぶのは簡単だった」= 2年小川晃平
- 「めんこの遊び方は単純だったけど、結構技のいる遊びだと思った」= 4年岡藤航平
- 「ぜんざいと焼きいもがとてもおいしかった」= 4年小谷咲乃
- 「お手玉やあやとりも楽しかったけど、竹ぼっくりを作るのが楽しかった」= 5年谷知美
- 「皆さんがおいしい、おいしいと喜んでくださったので作り甲斐がありました」= 5-1組山岡理恵(育成会)

行事予定

- 2/14 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 2/21 自治連合会防犯パトロール
- 2/22 随想散歩館(井原市図書館) 午後1時30分～3時 話す人: 谷本祐子さん 「子守り唄とともに」
- 3/7 消防団第3部試運転日
- 3/7 倉掛少年団入退団式
- 3/13 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 3/13 倉掛自治会決算総会
- 3/14 第11回経ヶ丸山頂ファミリーマラソン 開会式 9:40～ S10:10～
- 3/17 市内中学校卒業式
- 3/19 市内小学校卒業式
- 3/20 自治連合会防犯パトロール
- 3/26 市内小中学校学年末修了式
- 3/28 全国小学生クロスカンントリーリレー(大阪万博記念公園) ©井原陸上クラブ出場
- 4/2 郷社清掃 午前8時～
- 4/4 郷社まつり